

令和4年度 県政世論調査結果の概要

○各調査項目の概要

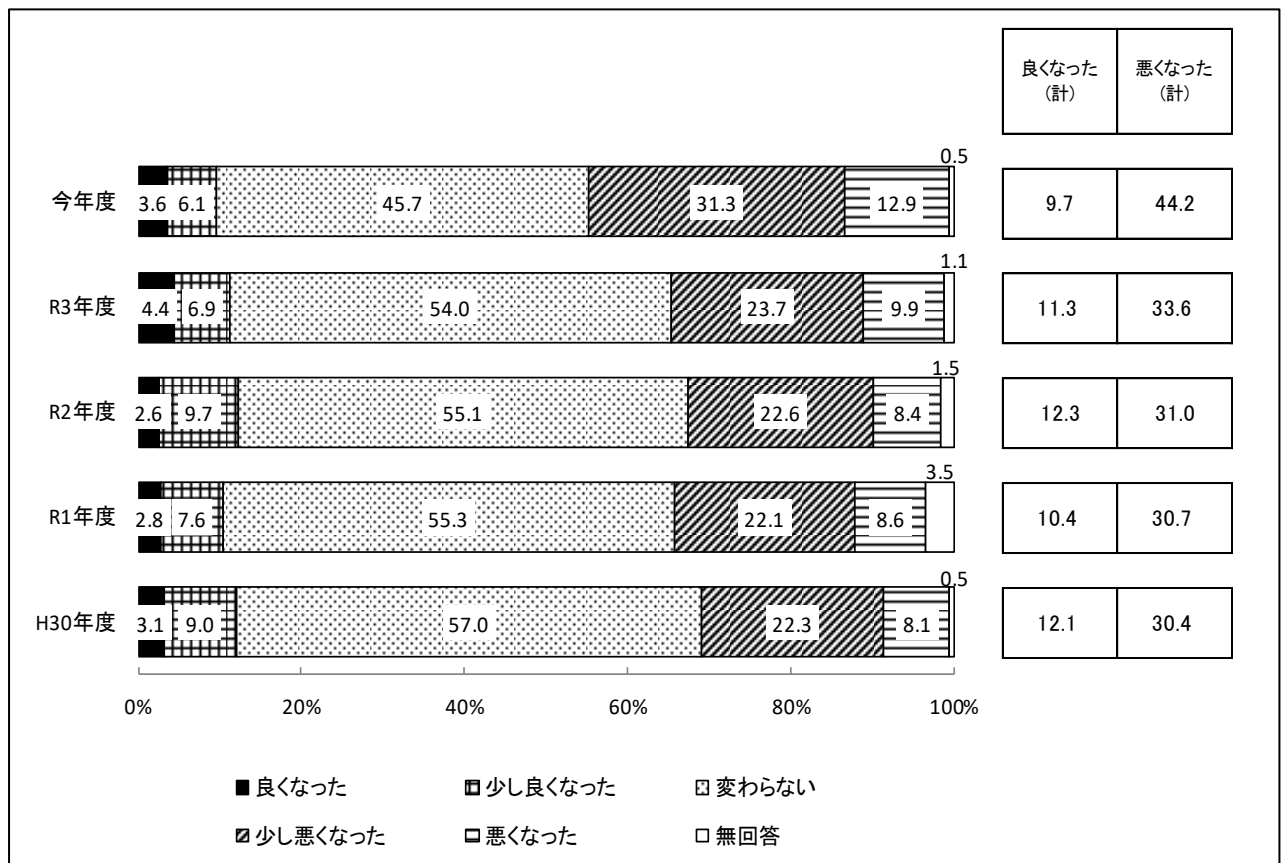
※調査結果のうち、主なものを抜粋して掲載している。
 ※数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100.0%にならない場合がある。

1 県民の生活実感

○2～3年前に比べた暮らし向きの変化

昨年度と比較すると、『良くなった(計)』は1.6ポイント低下し、『悪くなった(計)』は10.6ポイント上昇している。

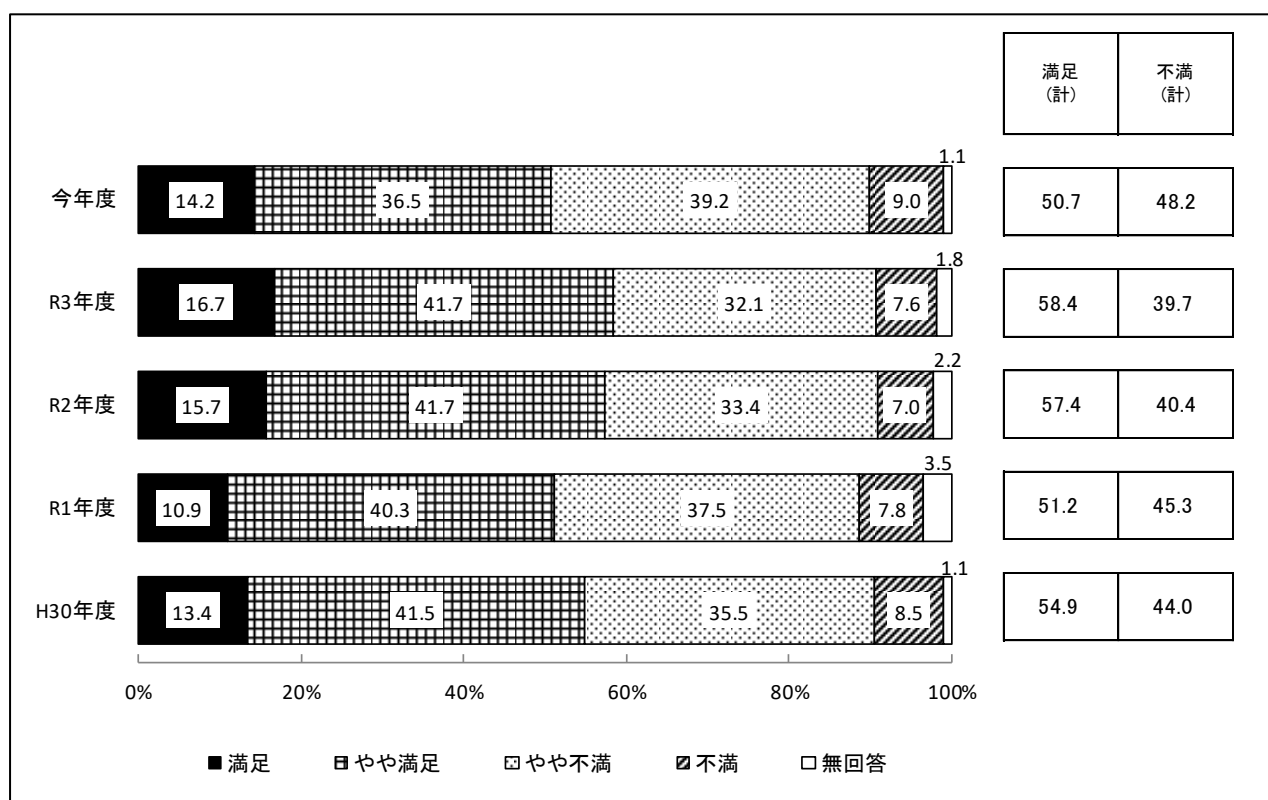
また、直近5年間の回答状況をみると、『良くなった(計)』は1割前後、『悪くなった(計)』は3割から4割強で推移している。



○現在のくらし向きの満足度

昨年度と比較すると、『満足(計)』が7.7ポイント低下し、『不満(計)』は8.5ポイント上昇している。

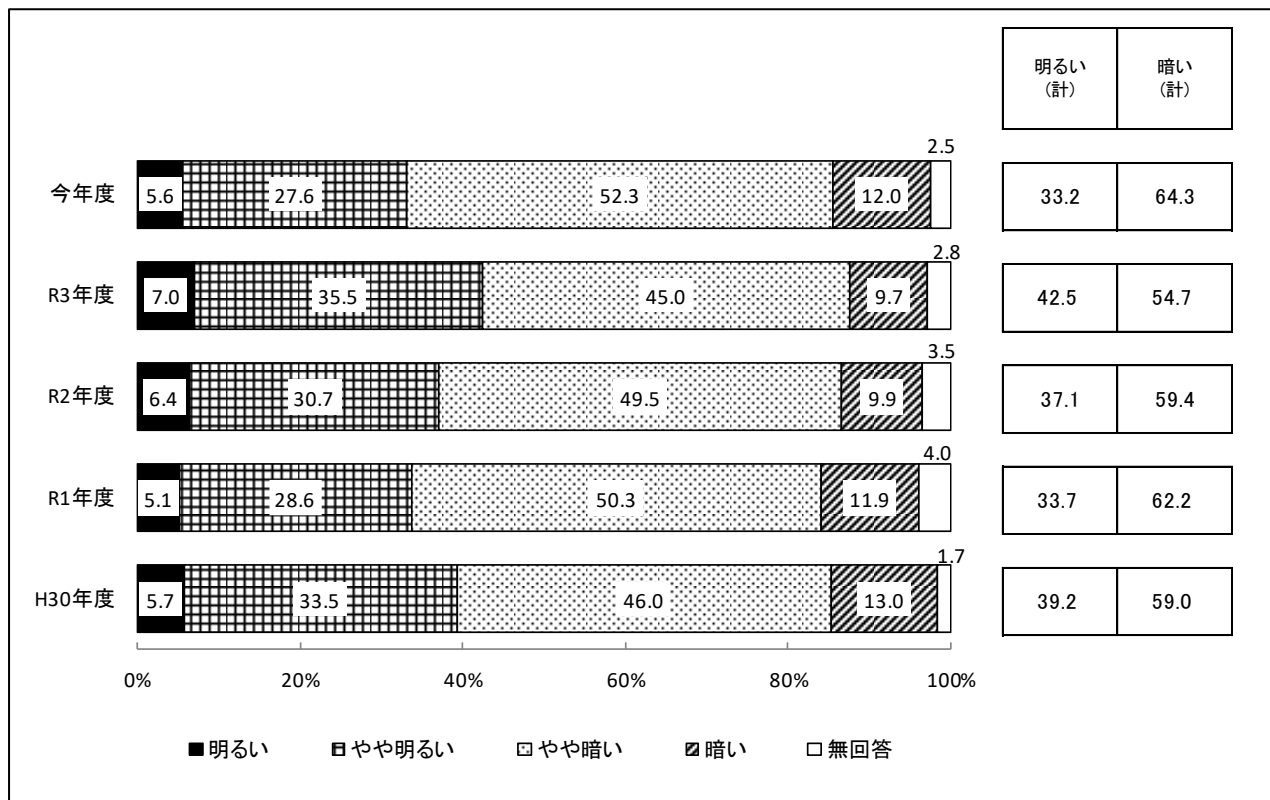
また、直近5年間の回答状況を見ると、『満足(計)』は5割台、『不満(計)』は4割前後から5割弱で推移している。



○今後の生活の見通し

昨年度と比較すると、『明るい(計)』は9.3ポイント低下し、『暗い(計)』は9.6ポイント上昇している。

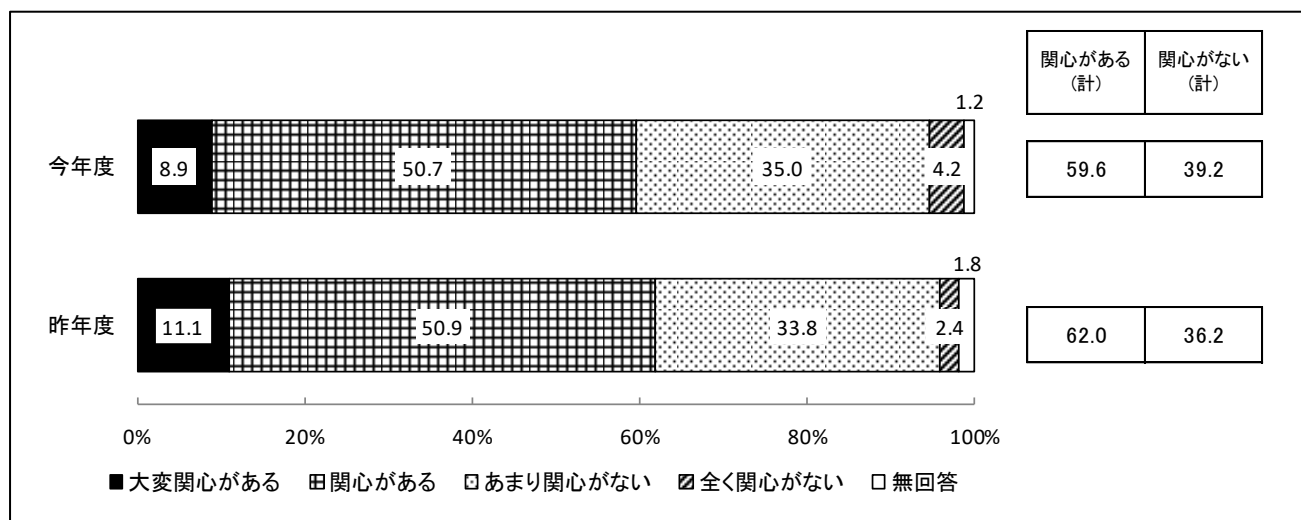
また、直近5年間の回答状況をみると、『明るい(計)』は3割強から4割強、『暗い(計)』は5割半ばから6割強で推移している。



2 政治や経済への関心

○県の政治や経済への関心

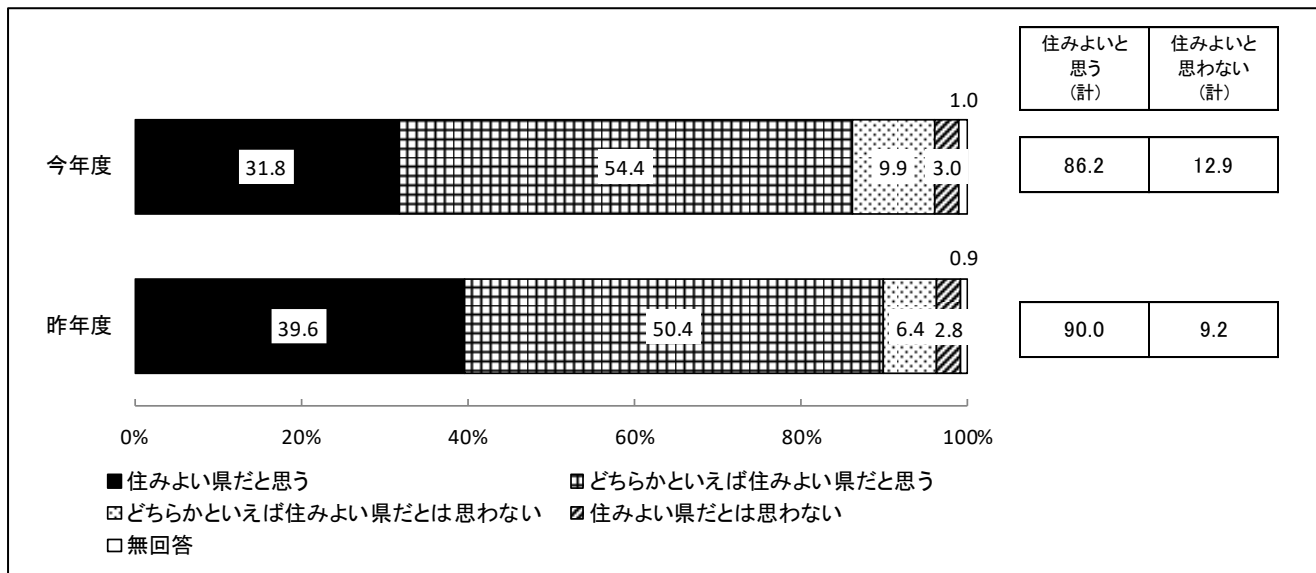
昨年度と比較すると、『関心がある(計)』は2.4ポイント低下し、『関心がない(計)』は3.0ポイント上昇している。



3 県の取組に対する実感

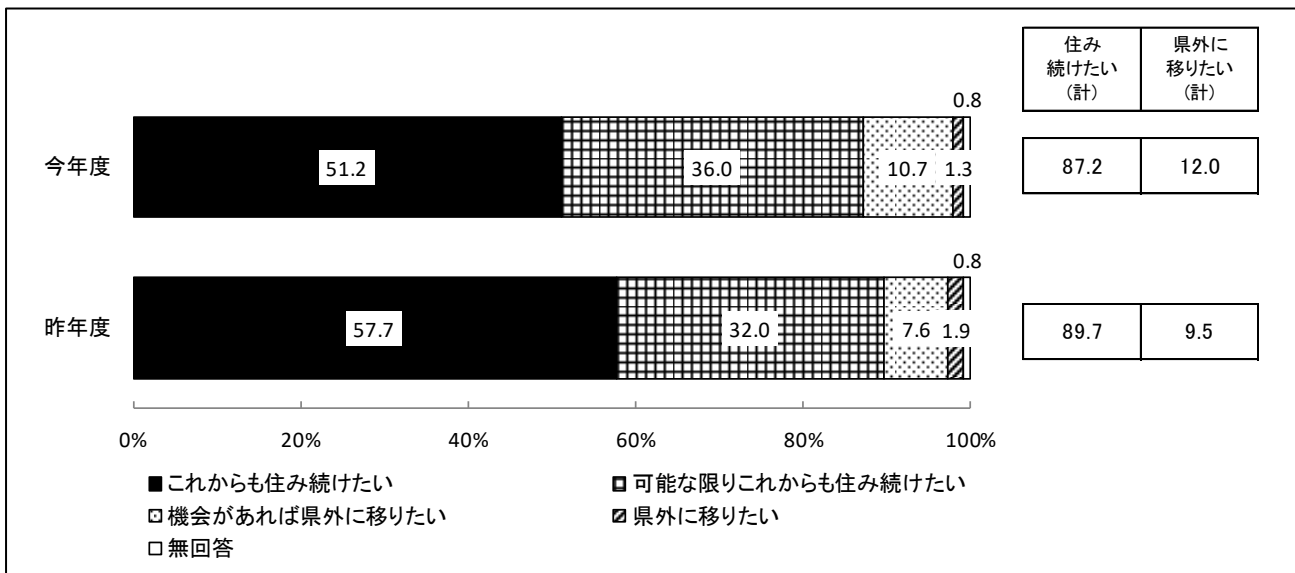
○山口県の住みよさ

昨年度と比較すると、『住みよいと思う(計)』は3.8ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。



○今後の山口県への居住意向

昨年度と比較すると、『住み続けたい(計)』は2.5ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。



【県の取組に対する実感】 「やまぐち維新プラン」の19プロジェクト等について

